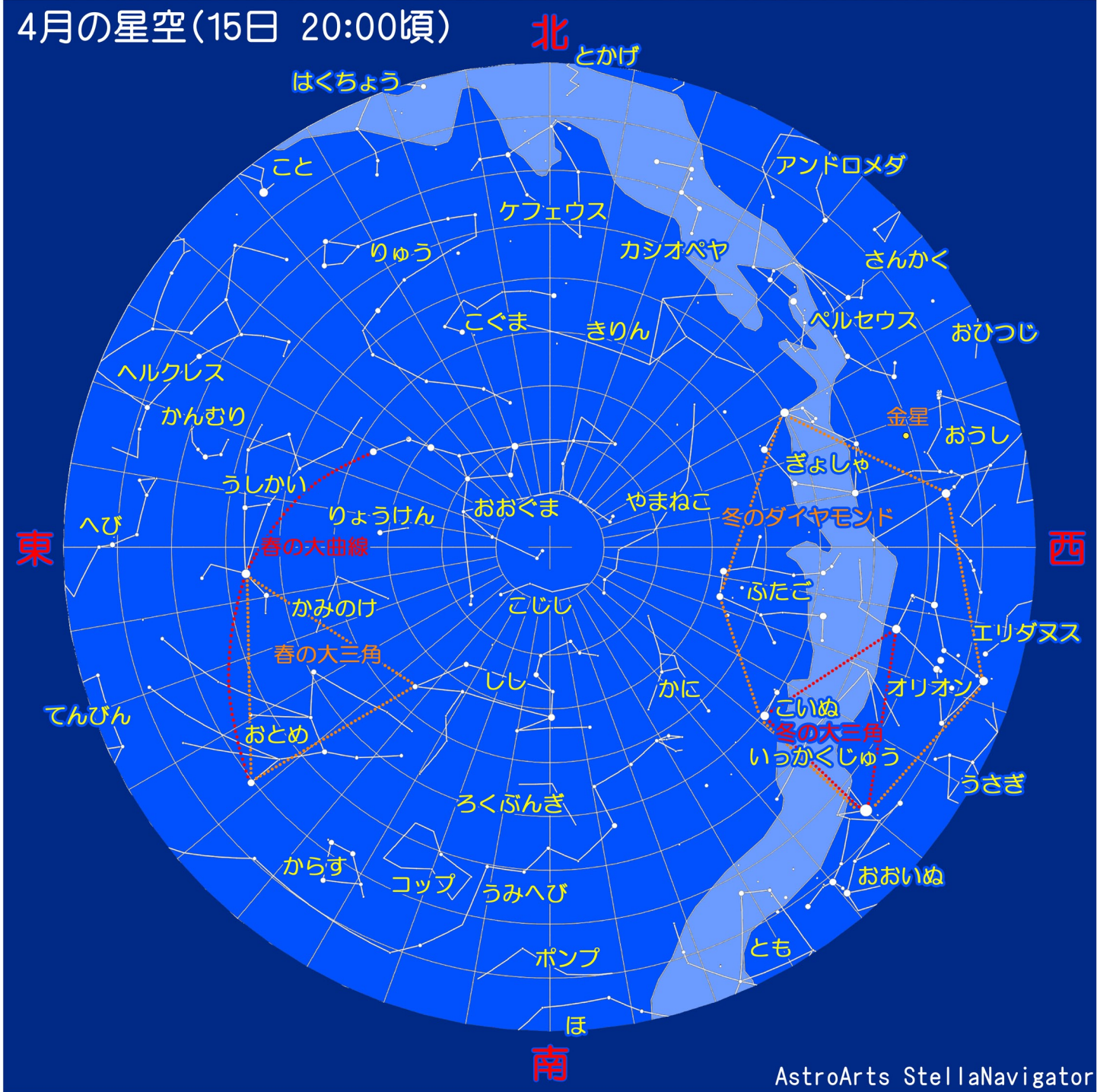


銀河の森天文台
2020年4月みどころ天体情報



今日のイチオシ！

★M104(銀河)

おとめ座に位置する銀河で、形がメキシコのソブレロ帽子に似ていることから、ソブレロ銀河と呼ばれています。これまでは渦巻銀河を横から見たものとされていましたが、赤外線天文衛星スピッツァーの観測により、円盤状の構造を持つ楕円銀河であると考えられています。M104には多くの球状星団が存在し、その数は2000個以上にもなります。



距離：約4600万光年
M104

月

出 没
1日 上弦 09:36 00:34
8日 満月 18:04 05:17
15日 下弦 01:02 10:14
23日 新月 04:48 18:21
天文台から月を見ることが
できるのは1～10日頃と25
～30日頃、望遠鏡での見頃
は上弦前後です。

距離：約38万km

M51(銀河)

銀河の渦巻の腕の先に小さな銀河(NGC5195)を伴っていることから、子持ち銀河という愛称で呼ばれています。月明りのない夜には2つの銀河が実際につながっている様子を見ることができます。

距離：約2100万光年

M82(銀河)

おおぐま座に位置する銀河で、低倍率では近くにあるM81と同一視野に見ることができます。スターバースト銀河と呼ばれる、非常に活発な星形成が行われている銀河です。

距離：約1200万光年

M3(球状星団)

明るい見事な球状星団でうしかい座のアルクトゥールスとりょうけん座のコル・カロリの間あたりに位置しています。密集度が高いために、双眼鏡では恒星と区別が付きにくいかもしれません。

距離：約3万3900光年

M97(惑星状星雲)

ぼんやりと見える丸い光の中に暗い部分が2つありその様子がふくろうの顔を連想させることから「ふくろう星雲」と呼ばれています。北斗七星のひしゃくの底部分の星(β星)のすぐ横に位置しています。

距離：約1800光年

かに座ι^{イタ}(重星)

色の対比の美しい二重星と言えば夏の星のアルビレオが有名ですが、春ならばこの星です。かに座の右のはさみのところで輝く4等星で、黄色と青色の色の対比が美しい春を代表する二重星のひとつです。

距離：約298光年

コル・カロリ(重星)

りょうけん座を形作る2つの星のうち、明るい方がコル・カロリです。春のダイヤモンドの一番北に位置する星でもあります。

白色の2.9等星のそばに薄紫色の5.5等星が寄り添った美しい二重星です。

距離：約120光年

ちょっとマニア

・NGC5866(銀河)

りゅう座に位置する銀河で、望遠鏡ではM104を小さくしたような姿を見ることができます。行方不明のメシエ天体の一つ、M102はこのNGC5866ではないかと考えられています。

距離：約5300万光年

その他おすすめ

- ・M44(散開星団)
- ・M53(球状星団)
- ・M65(銀河)
- ・M66(銀河)
- ・M81(銀河)
- ・NGC3242(惑星状星雲)
- ・アルギエバ(重星)

4・5月の銀河の森天文台カレンダー

4月							5月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4						1	2
5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9
12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16
19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23
26	27	28	29	30			24 31	25	26	27	28	29	30

開館時間

14:00～22:30
(4月～9月)
13:00～21:30
(10月～3月)

休館日